

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (29) 行政と連携した事業承継及び施設取得計画の支援取組み
JA北さつま (鹿児島県)

| | |
|----|----------|
| 新規 | 継続 |
| ○ | (平成 年 月) |

| | |
|----------|---|
| 1 動機(経緯) | 畜産農家より地域振興局とJAの畜産担当者へ事業承継と規模拡大のための畜舎取得計画について相談がありました。当畜産農家の方は過去に肥育牛を経営(現在は生産牛を経営)されていたため、既存の牛舎は肥育用の牛舎であるため今後の規模拡大を見据え生産牛用の牛舎へ大掛かりな改修工事が必要でした。当畜産農家の方は高齢になってきており後継者である孫への事業承継と法人化の検討をしていました。 |
| 2 概要 | 各機関の専門部署を招集し検討会を開催する事となり参加しました。参集メンバーは地域振興局からは畜産技術員・経営指導・補助事業の各担当者、役場からは補助事業・認定農業者の各担当者、当JAからは畜産技術員・経営指導・融資の各担当者です。 |
| 3 成果(効果) | 補助事業を活用するため補助事業と認定計画は役場、補助残額融資と規模拡大による増頭資金(導入・育成費)はJA、経営相談と計画作成は地域振興局と分担したことで役割が明確化されました。その後、他農家の計画についても検討会を開催し、各機関と連携した計画の支援を図りました。 各専門員の指導によって、事業承継までの当農家の行動計画が策定された事により、スムーズな事業承継ができるよう支援を実施しました。 |
| 4 今後の予定 | 現在は、当JAの一部の地区での取組みですが、当事例のような農家支援は、農家の方々の不安や負担を軽減できる取り組みであるため、他地区の行政へアプローチを行い連携強化を図ります。 |